

夏油山地 ウシロ沢

2010年10月2日
松田

10月2日(快晴)

次週の森吉に備え、沢のリハビリということ
で、近場の夏油山地のウシロ沢に行く。

自宅から30分足らずで、夏油温泉手前の入渓
点。道沿いにはカーブ毎にきのご狩りの車が止
まっていて、まさにベストシーズンという感じ
だ。まだ紅葉には少し早い、久々の沢、単
独で少し怖い、天気がいいので気持ちがいい。
しばらく川原を行くと、先行のきのご狩りのお
じさんに出会う。なんと横手から来たそうで、
わざわざこんな所まで来なくても、周囲にき
のこ山がたくさんありそうなのだと思う。両
岸の広がるブナ林は美しく、沢は小ぶりだが、
あちこち魚影が走る。こんなに人里に近い沢
でも魚影が豊富ということは、真面目に探せば、
岩魚に不自由しないかも知れない。

しばらく行くと10mくらいの滝がふたつ
ほど出てくるが、ノーザイルで行くには少し
怖いので、無理せず巻く。

時々滝が現れるが、割と単調な感じの沢が
突然、20mくらいの立派な両門の滝に行く
手をたたれる。扉のページにあった、これ
が例の滝だと思い、巻くのも大変そうなの
で、少し戻って左の枝沢に入る。40分も登
ると藪こぎなしで、牛形山直下のトラバ
ース道に出た。快晴で、夏油の山々が良
く見える。私の好きな前塚見山は真正面
だが、どこから見ても端正で、まるで
クレオパトラの鼻のようだ。夏道をその
まま夏油温泉に降りるのはもったいない
ので、白子森、鷲ヶ森山方面に縦走す
る。この辺りが毎日眺めている稜線で、
一度は歩いてみたいと思っていただけ
に、好天のもとでの夏道歩きもなかな
か楽しい。

右手には、駒から経塚山、焼石岳への
主稜線。左後方には、少しかすんでいる
が鳥海山が美しい姿を見せる。正面は
毒ヶ森山塊、独特の名前

だが、地味な1000m以下に山々が連な
っている。丸子峠の道標は熊に爪あとが
生々しく、鈴を持ってくればよかったと
少し怖くなる。歩きやすい道を駆け下
ると、車道に出る手前で少し膝にきてし
まった。やはり、登っていないとダメだ
なと思う。

車に戻り、いつもの水神温泉__東館に
寄って汗を流す。ここはひなびた雰
囲気が良く、150円と格安で、銭湯代
わりに時々来る所だ。

沢は楽しかったが、滝はあまり登れ
ず、岩トレの必要性を感じた山行とな
った。

コースタイム

入渓(8:40) - 牛形山直下夏道(11:
50) - 鷲ヶ森山経由 夏油温泉(14:40)

地形図 三界山



上 上部の2段滝：下 鷲ヶ森山頂